

東京 すくわくプロジェクト活動報告書

園番号	14
園名	清水保育園

1. 活動テーマ

<テーマ>

土・砂・石に触れたり、体で表現してみたりする。

<テーマの設定理由>

砂場遊びや泥団子づくりの中で、土や砂に触る・握る・丸める・泥団子が綺麗になるよう砂や水を使って成型するなど、様々な体験を子どもたちに知ってもらうための活動として取り組むことになった。また、キッズヨガで自然の石に変身したり、バスハイクや園外合宿で自然との関わりを増やしたりすることで、石の形や色、硬さの変化に興味を持ってもらうための活動としても取り組む。

2. 活動スケジュール

- ・新たに砂場に土を入れ、砂場で遊ぶための玩具を補充する。
- ・数日かけて行えるよう日程を調節し 4.5 歳児を中心に赤や黒の土で団子づくりを行う。
- ・夏に年長児の園外合宿で夏の自然や石、土などに触れる機会を作る。
- ・冬には年中児と年長児でバスハイキングへ行き、冬の自然に触れる機会を作る。
- ・4月から月に1～2回 30分程度のヨガ教室を受ける。

3. 活動探求の実践

<活動内容>

- ・活動のたまに準備した素材や道具、環境の設定

- ・砂場遊び用のシャベルやカップとの玩具。
- ・団子づくりで使用するための土や布、子ども達が見る為のイラスト図、安全に活動が出来るよう座って行える環境を準備。
- ・園外合宿やバスハイクに行く為の準備。自然と触れ合うために安全に遊ぶためのエリアの確保。
- ・キッズヨガをわかりやすく伝えるためのイラストや担当講師の設定。

- ・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関り

- ・新しく砂が入り玩具も増えたことで、コップやお皿で料理を作ったり、山を作って電車や車が走る場所を作ったりと楽しむ姿が見られる。
- ・砂を直接手で触れ、皮膚への刺激や砂の感触を体験し、気温や深さなどで砂の温度や肌触りが変化することを知り、子ども同士や保育士と実験してみようとする子どももいる。
- ・園外で自然物に興味を持って触れていた。
- ・キッズヨガで覚えた自然物を表現してみたり、形や硬さなどが違うことを知り園外で自然物に触れに行ったりと、身体表現や自ら触れる体験を通して学ぶことを楽しんでいた。

4. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・園での正課外活動を取り入れることにより、団子づくりや砂遊び、どろんこ遊びなどの遊びの幅が広がり、子ども達が楽しく遊ぶことが出来ているように見られる。
- ・キッズヨガや日々の学びを通して自然物の形や硬さの違いなどを知り、園外合宿、バスハイクなどで実際に見たり触れたりすることで、体験を通して学んでいるように見られる。
- ・子どもたちの楽しい、面白い、やってみたいという感覚や活動を、実践できるようにしていきたい。
- ・正課外活動や遊びが楽しいと感じられる環境を設定していけるよう、安全管理と保育について職員間で見直していきたい。